

第1回東郷湖羽合臨海公園パークビジョン検討会

- 1 日 時 令和4年8月1日（月）14：00～15：00
- 2 場 所 県庁2庁舎6階第36会議室、中部総合事務所入札室他リモート会議（Webex）
- 3 出席者 会議資料のとおり
- 4 概 要 資料に沿って説明後、各検討会メンバーから意見をいただいた。

5 内 容

◇県事務局（会議資料に沿って概要説明）

◆湯梨浜町 吉川副町長

- ・検討会設置について感謝申し上げる。
- ・臨海公園の有効活用については大きな問題であると考えている。
- ・健康づくり、学び、SDGsが大きなテーマとなると考える。
- ・東郷池を含めた自然環境、健康増進、温泉観光等の社会・経済・観光の要素が詰まったエリアだと思っている。
- ・SDGsパークのような形でコンセプトをもってやっていけたらと思っている。
- ・ハードとソフトがもう少し緊密に連携し、ソフト面をより頑張っていく必要がある。
- ・ウォーキング大会等のイベントが開催されているが、ソフト面との連携を高め、都市公園の良さを知ってもらい、訪れてみたいという人を増やしていくような取組が必要と思っている。

◆倉吉市 谷田部長

- ・湯梨浜町の吉川副町長と大体同じような考えであり、東郷池が近いということで日頃からよく利用している。1周10～12kmくらいの東郷湖周辺を自転車でするぐる回って楽しんでいる。
- ・多目的な公園で様々なことができる反面、特徴がないとも言える。その中でどう特化していくのか、どのようなテーマを持つのか、県民だけ意識するのか、県外からも来てもらえる公園にするのか、一つ一つターゲットを絞りながら検討していく必要がある。
- ・まずは湯梨浜町が東郷池をどう活用していきたいのが大事である。県と湯梨浜町、そして中部全体の各市町と一緒に連携しながらこの公園をどう活用していくのか考える必要がある。
- ・倉吉市（関金）は体験型修学旅行で民泊受入をしている。近年は環境や自然、SDGsをテーマとしたプログラムを希望する学校が多いことから、学びが提供できる空間があれば連携できると思う。

◆NPO 法人未来 岸田理事長

- ・22年くらい前からSUN-IN未来ウォークを立ち上げている。
- ・臨海公園は、ウォーキングリゾート鳥取のトップランナーである。
- ・臨海公園でウォーキングの研修や大会を実施しており、県内外から来やすいエリアである。
- ・全国一歩きやすいコースではないかと思う。学習や環境を組み込んで、特徴のあるウォーキングコースができればよいのではないか。

◆県商工会連合会 米田専務理事

- ・都市公園が東・中・西部ある中で、臨海公園の位置づけを確認したい。
- ・自然、歴史、文化を含めてもっといろんな意味でスポットをあてた公園にすべきである。
- ・ウォーキングやサイクルツーリズム、自然体験等の中部の拠点になればと考える。
- ・参考になる全国のパークビジョンがあれば紹介していただきたい。
- ・呉市の公園が入園料を有料から無料とし、公園に行った方が飲食1回100円を払う実験をし、その収入を公園の整備に使った事例がある。ただ単に無料にするのではなく、経済的にプラスになるようなことを考えないといけない。

◆（一社）鳥取中部観光推進機構 蔵求事務局長

- ・公園には観光のイメージがなく、リピートされていない。2回目、3回目も訪れてもらうためにどうしていくか、指定管理者にはしっかり考えていただきたいが、県や指定管理者だけということではなく、公園や建物がある湯梨浜町や観光関係者等と連携してしっかり作り上げるべきである。

◆県老人クラブ連合会 水野副会長

- ・東郷池のすばらしい景観を守ってほしいという町民、県外移住者からの声がある。
- ・色々と活用することも大事であるが、高齢者、若い人も含めて、安全・安心な施設として欲しい。
- ・東郷池と公園や温泉等を活用した計画が望ましいと思う。
- ・老人クラブではR4.10月、燕趙園を見ながら歴史も勉強するウォーキング大会を実施する。トリアスロン、カヌー、ウォーキング等の大会とのコラボや誘致をしてはどうか。

◆県PTA協議会 坂本理事

- ・子の自主練で体育館等を使用している。南谷の羽合トレーニングセンターのあたりの地盤沈下はひどいが、施設がないと困る。
- ・中学生や高校生が一か所に集まって何種類かのアクティビティができる場所があったら、修学旅行の受け入れ先や地元の学生が訪れる。
- ・小中学生の活動範囲は狭く、学生が動けば保護者も一緒に動くので、人流が増える。
- ・臨海公園は、広く、景観が美しいことを活かした活用策を検討していただけたらと思う。

◆(一社) 県造園建設業協会 清水理事

- ・近年、シェルター(休憩施設)等の改修が進んでいるところだが、その他にも樹木管理を含め、公園の快適性をよくすることが、造園業界として必要な事であると考えている。臨海公園にも改善点は多く、例えば、園路、手洗い等は、人々が集まるか否かという一つの判断材料になるため、整備を進めていく上で検討が必要だと思われる。

◆湯梨浜町観光協会 若山事務局長

- ・町観光協会としては、着地型観光商品などで東郷池を有効活用している。その周りに公園があるのは喜ばしいことだと思っている。
- ・観光施設や公園の老朽化への対応等をどうしていくか、地元だけではなく湯梨浜町も考えていただき、周辺の住民も考えていただく必要がある。

◆中部総合事務所県民福祉局 小林局長

- ・臨海公園は、緑が多いが、日陰を作るような取組が必要な場所もある。
- ・施設の老朽化を契機として施設を集約していく必要がある。
- ・燕趙園は、リピーターをつくる取組が必要である。
- ・中部では大きな観光施設の一つであり、燕趙園は必要と考える。

◇県事務局(県商工会連合会 米田専務理事への回答)

- ・県立の公園は東郷湖羽合臨海公園と布勢総合運動公園がある。布勢は総合運動公園であり基本的なコンセプト、役割がしっかりしているので、今回は東郷湖羽合臨海公園のみパークビジョンを検討していく。臨海公園の基本計画(S47)では自然環境と調和した観光レクリエーション施設、県民を対象とした広域公園とされている。計画では東部の砂丘、西部の大山とともに県内外の観光客を吸収する可能性を有しており、中部の観光拠点として整備されている。
- ・全国のパークビジョンについては、別途参考送付する。
- ・単なる公園無料化ではなく、売店での収益アップ事例は、呉市の他、岐阜県があり、燕趙園道の駅や売店も人が集まる仕組みがあれば、収入増となりえると考えている。

◇県事務局

- ・今回、意見をいただいたが、改めて意見を照会させていただき、次回検討開催したいと考えます。